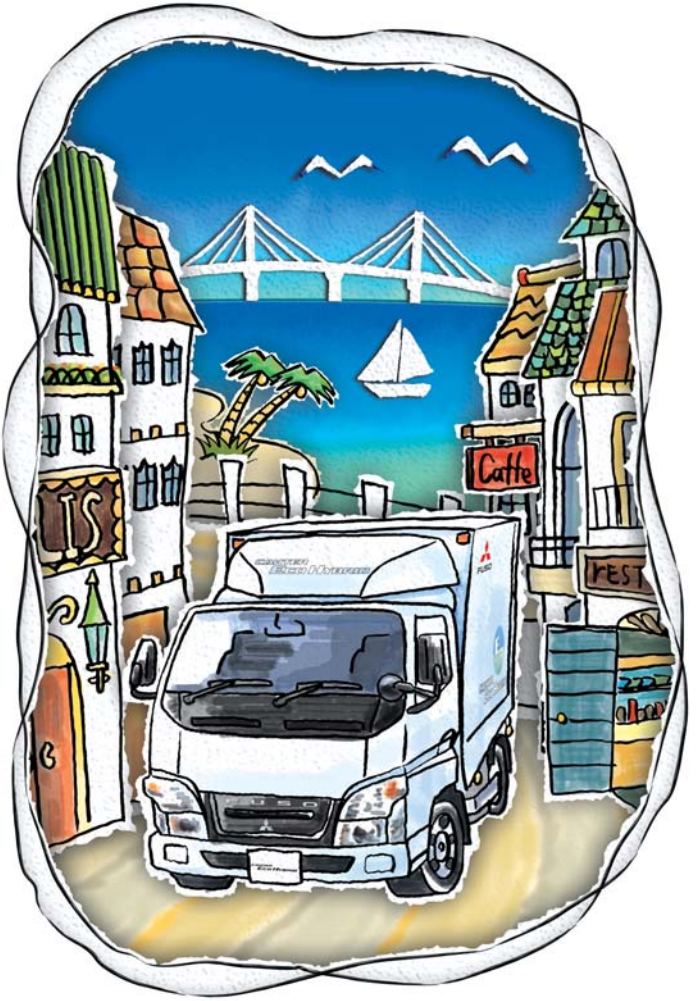
All for you

ふそう目より情報

SUMMER 09



FUSO

写真は撮影用特別仕様車（イメージ）

免　税
対象車

自動車取得税および自動車重量税（2012年までに、新規検査・継続検査のいずれかの検査による自動車検査証の交付を最初に受ける場合）が免税されます。

環境に敏感な人に応える、トラックでありたい。

経営効率を高めるとともに、環境保全への取り組みをすすめる企業に応えるために。三菱ふそうがお届けするのは、いちだんと燃費性能を高めながら環境への負荷を軽減する高性能ハイブリッドトラックです。ハイパワーモーターと、新たにVGターボを搭載したディーゼルエンジンとの組み合わせにより、優れた低燃費を実現するとともに、平成17年（新長期）排出ガス規制基準NOx&PM10%低減をクリアしています。

新型 CANTER ECO HYBRID 誕生

高度なハイブリッドテクノロジーと、燃費性能を高めた新エンジンを採用し、経済性とクリーン性をいちだんと向上させています。

優れた環境性能

- ●平成17年（新長期）排出ガス規制適合
- ●低排出ガス重量車認定制度適合
- ●平成27年度重量車燃費基準達成
- ●自動車NOx・PM法適合

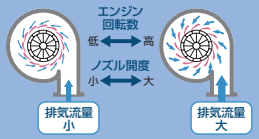
写真は撮影用特別仕様車

写真は4M42（T3）
平成27年度重量車燃費基準達成車搭載エンジン

コモンレール式高圧燃料噴射システムなどのクリーン機構に加え、高精度クールドEGRシステムを採用したクリーン&ハイパワーなディーゼルエンジンを搭載。

ディーゼルエンジンに、コンプレッサーの過給圧を最適に制御するVGターボを搭載。

エンジン低回転時にはノズルを閉じ、高回転時にノズルを開くことで、エンジン全作動範囲で最適な過給圧を発生することが可能です。これにより、さらなる低燃費とNOx&PM低減を実現します。



夏を乗り切る 正しい知識と整備でクールドライブ!!

ふそう耳より情報　2009/夏号

ジメジメした毎日が続くなか、つい車両の管理を怠りがちになっていませんか？
昨年の自動車盗難事故実態調査によると、トラックの盗難被害が急増しています。その主な理由には、発展途上国での経済成長を背景とした、建設工事の増加に伴うトラック需要の高まりが指摘されています。そのため、車両の管理をこれまで以上に徹底させる必要が出ています。盗難防止装置を付けたり、夜間は明るい場所に駐車するなど、入念な自己防衛策を心がけてください。
毎朝、安心して業務にかかるために、日ごろから車両の管理には十分な注意を払いましょう。

4ページ　暑い夏をむかえる前に　**エアコンの点検・整備**

5ページ　車両火災の恐れも!　**フレームと荷箱間への収納のご注意**

6-7ページ　確実なソリューションをご提供　**ふそうメンテナンスリース**

8-9ページ　エンジン損傷の危険性も!　**各種ベルトの点検と残余寿命**

10ページ　おぼえておきたい!　**ルームランプ交換時の注意点**

11ページ　「どうして?」にお答えします!　**なるほど! Q&A**

トラック・バスに関するご質問などがございましたら、三菱ふそうのスタッフまでお申し付けください。

暑い夏をむかえる前に

エアコンの効きについて 早めの点検・整備

近年の車両は、エアコン冷媒配管やシールの性能が向上しており、定期的に点検する必要はありません。もしエアコンの効きが悪いと感じた場合は、配管の損傷などによる冷媒の漏れ、機器の故障、フィルターや熱交換器の汚れなどの可能性もありますので、早めに点検・整備を受けてください。また、冷媒の適正量・圧力値などは車種ごとに規定されており、適正量への調整はサイトグラスでの確認のみでは困難なため、冷媒全量回収後、規定された量を再充填することが確実です。そのため、整備には車両の特性を十分に把握している三菱ふそうサービス工場のご利用が安心です。

三菱ふそうサービス工場では次の項目を確認して、冷媒量を適正値に調整します。

- 吹出し口の風温は性能どおりか?
- エアコンコンプレッサは正常に作動しているか?
- コンデンサに変形・詰まりはないか?
- ファンは正常に作動しているか?
- エアコンユニットは正常に作動しているか?
- 冷媒圧力は適正値になっているか?
- 冷媒漏れが発生している部位はないか?

エアコンの性能を保つために、エアフィルターの清掃を忘れずに行いましょう! また、コンデンサに泥などが付着していないかチェックしてください。

注意! 冷媒は温室効果ガスです!

法律により、冷媒を故意に大気中に放出することは禁止されています。整備や廃車の際は、三菱ふそうサービス工場に相談のうえ、冷媒を回収してください。

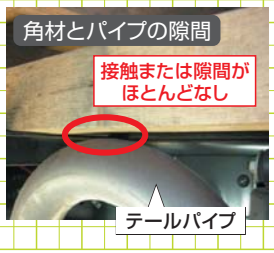
車両火災の恐れもあります!!

フレームと荷箱間への 可燃物収納時のご注意

車両のフレームと荷箱間を角材などの可燃物の収納スペースとして利用する場合がありますが、この周辺には高温になる排気管のテールパイプが設置されています。角材などの収納時にはテールパイプと接触または隙間がほとんどなくなり、テールパイプからの熱により出火する恐れがあります。

火災防止のため
可燃物の収納スペースとしては使用しないでください。

角材収納事例



ここにも要注意!!

キャブ(エンジン後方)と荷箱の間にロープやほろの先端を垂らさない、また、板やビニールシートなどの燃えやすい物を差し込まないなど、構造対策はもちろん荷物の種類や積み方に配慮すれば、より確実な火災防止につながります。

見えない
コストも
抑える!

確実なソリューションをご提供する
ふそうメンテナンスリース

ふそうメンテナンスリースは、全国の三菱ふそうのネットワークがリースの契約時から満了時までを一貫して担当するワンストップサービスです。トラックを知り尽くした「三菱ふそう」と、三菱ふそうのファイナンスサービスプロバイダー「ふそうファイナンシャル」が、ベスト・コンディションの維持とコストの平準化に向けた各種ソリューションを共同開発。サービススタッフのきめ細かいメンテナンスと、安心稼動に配慮した効率的な運行計画をご提案します。

リース対象車種（2009年5月現在）

大型トラック　中型トラック　小型トラック　小型バス

契約年数は法定耐用年数により1年単位でお選びください。

ふそうメンテナンスリース 7つのメリット

万全の予防整備で安心稼動
車検および定期点検を確実に実施して、故障の発生を未然に防止。整備履歴は保管され、その記録はお客様にもご確認いただけます。

三菱ふそうサービス工場で整備を実施
三菱ふそう車の最新技術に精通したプロが、確実にメンテナンスを実施。最新設備により、車両の状態を正確に把握します。

全国ネットワークのサービス体制
全国の三菱ふそうネットワークが安心稼動をサポート。全国の三菱ふそうサービス工場262拠点でサービスをご提供します。

24時間対応でサポート
365日24時間体制でお客様をサポート。万一の緊急事態にも対応できるサービス体制を整えています。

ムービングピット 出張サービス・緊急対応
点検整備などの出張サービス・緊急対応には、各種機器・工具を搭載したムービングピットが幅広く対応。現在の約100拠点に追加配備し、さらに体制強化に努めています。

故障診断機による車両状態のチェック
電子制御システムの整備では、最新の解析機器により車両の状態を把握。故障診断テスター（MUT-Ⅲ）による解析結果は、お客様にもご確認いただきます。

業務削減効果
ふそうメンテナンスリースには整備に関わる各種費用・処理が含まれています。そのため、車両リース以上の業務削減効果があります。

車両リース代+整備代をひとつに

コストの平準化を実現

ふそうメンテナンスリースには車両リースに加え、整備代・車検諸費用がリース料に含まれています。

リースに含まれる項目	メンテナンスメニュー		
	エクセレント	セレクト	アドバンス
車両代（含架装）	●	●	●
登録諸費用	●	●	●
取得税	●	●	●
自動車税	●	●	●
重量税	●	●	●
自賠責保険料	●	●	●
法令点検整備	●	●	●
車検整備	●	●	●
油脂類補充・交換	●	▲	
定期交換部品	●	▲	
一般消耗部品	●	▲	
故障修理	●		
タイヤ交換	オプション	オプション	オプション
バッテリー交換	オプション	オプション	オプション

▲:一部含む

※メンテナンス内容の詳細は、三菱ふそう販売店へご相談ください。

回転力を伝える重要な

ベルトの点検と残余寿命

ラジエターの冷却ファンを回転させたり、オルタネーターに駆動力を伝えるベルトは、車両において非常に重要な部品の1つです。ベルトが切れた状態に気づかずに走行を続けると、最悪の場合は、エンジンの破損という事態を招く恐れもあります。
点検と残余寿命には十分に注意して、安心・安全な運転を心がけましょう

オーバーヒートだけではない！エンジン破損という最悪の事態も！

注意

ファンベルトを点検するときは、必ずエンジンを停止させてください。エンジンの回転部に触れたり近づいたりすると、手や衣服などが巻き込まれ、思わぬケガをする恐れがあります。また、ベルトがスリップする原因となるため、点検時にはベルトに油脂を付着させないでください。

ベルトに損傷がある場合は、ベルトの切断などによりエンジンが破損する恐れがあります。すみやかに三菱ふそうサービス工場へ交換をご依頼ください。

■ ファンベルトの緩み・損傷の点検時期

日常（運行前）点検 ＋ 自家用 ➡ 6か月ごと / 事業用 ➡ 3か月ごと（シビアコンディション項目）

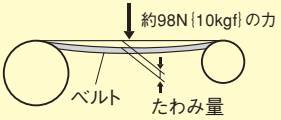
ベルトの緩み（張り具合）

ベルトの緩みや張り過ぎは、ベルト鳴き、オーバーヒート、充電不良、オルタネーターやウォーターポンプなどの故障の原因になります。ベルトは常に正しいたわみ量に調整してください。

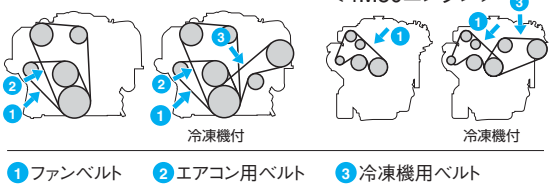
点検&調整について

1 キャブを上げます。
キャブチルトできない車は、エンジン点検口を開けます。

2 ベルトの中央部（図中矢印部）を指で約98N{10kgf}の力で押し、ベルトのたわみ量が基準値内であることを確認します。



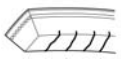
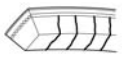
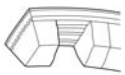
■ 点検箇所（小型トラックの例）



3 ベルトのたわみ量が基準値以上のときは、調整してください。
たわみ量の基準値や調整方法については、各車両の取扱説明書をご覧ください。

ベルトの損傷具合&残余寿命

ベルトの損傷具合の点検で亀裂や損傷がある場合は、早めに交換してください。
交換作業は分解が必要とされるため、三菱ふそうサービス工場へご依頼ください。

ベルトの状態（小型トラックの例） 4M42エンジン	ベルトの状態（小型トラックの例） 4M50エンジン	残余寿命（参考）
しわ入り	異常なし・リブ先端の微小な亀裂	新車またはベルト交換後から今までの走行距離（時間）と同程度、またはそれ以上
 ひびが入る	リブ高さ1/2までの亀裂	新車またはベルト交換後から今までの走行距離（時間）の1/2
底ゴムまで	リブ底に達する亀裂	新車またはベルト交換後から今までの走行距離（時間）の1/4
 心線まで	リブ欠け	寿命 危険です 早めに交換してください
		

知識 専用工具（別売品・非接触型音波式ベルト張力計）を使用すると、よりよいベルトコンディション管理ができます。ベルトの張り具合を簡単に確認できるため、日常点検時の作業負担が軽減されます。詳しくは、三菱ふそうサービス工場へお問い合わせください。

大型観光バスの ルームランプ間 センターガーニッシュの取り付けは確実に

センターガーニッシュは、確実に取り付けしないと、走行時振動などで通路に脱落して、乗客に迷惑をかけるおそれがあります。センターガーニッシュの四隅のロックファスナーを下面より確実に押し付け、ロックファスナー間に浮きがないことを確認してください。

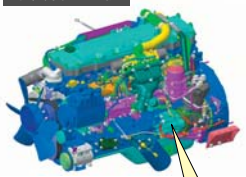
warning!!

燃料をお選びいただく時のご注意

JIS規格に適合していない粗悪なディーゼル用燃料や一部のバイオ燃料*及び重油などをご使用になると、これらの燃料には高濃度の硫黄、酸、水分などの成分が混入している場合があり、排気・後処理装置の機能低下や、燃料噴射装置などの破損が起きる恐れがあります。末永くお車をお使いいただくためには、ご使用になる燃料の性状などを予めご確認されることをおすすめします。

*一部のバイオ燃料:揮発油などの品質の確保などに関する法律に適合したB5軽油は除く

不具合の一例



6M6エンジンの
CRSサプライポンプ焼き付き

なるほど! Q&A

一般ドライバーからのご質問に、ふそうスタッフがやさしくお答えします。

Q 大型トラックに乗っています。最近、後輪が黄色く汚れてしまい、汚れがなかなか落ちません。何かよい方法はありませんか?

A 尿素SCRシステム付の車両では、排気管後方の鍛造アルミホイールが黄色く変色することがあります。その原因として、一般的な汚れに尿素SCRシステムによる排ガス成分が混ざったことによる変色と考えられます。後輪の黄色い汚れは洗浄剤を使用した洗浄により、鍛造アルミホイールの強度にも影響を与えることなく、落とすことができます。洗浄剤には、アルコア製のスーパーシャイン・アルミナム・ポリッシュをおすすめします。お近くのタイヤ販売店でお買い求めいただけますので、使用してみてはいかがでしょうか。

トラック・バスにまつわる疑問や質問を三菱ふそうのスタッフまでお聞かせください。

「三菱ふそうホームページ」でお役立ち情報をゲット!

ホームページでは、三菱ふそうの情報や省燃費運転のポイントなどが紹介されています。リコールやサービスキャンペーンの情報なども更新されているため、日ごろからのチェックをお願いします。

三菱ふそう ホームページ **http://www.mitsubishi-fuso.com/**

モバイルサイト 携帯電話でお近くのサービス拠点とAdBlue拠点をラクラク検索

モバイルサイトでは、全国の三菱ふそうサービス工場とAdBlue取扱店を簡単に検索できます。いつでもどこでもクルマの心強い味方としてご利用ください。

QRコードに対応していない機種の場合は、下記のURLを直接入力してください。

http://mmap.mitsubishi-fuso.com/mbl/mftb_m/index.html

ひとくち NAVI

骨盤矯正にも

腹筋を鍛えて腰痛を防ごう!

これからの暑い夏、腰痛のある方にはストレスが増える季節になりました。腰痛の原因の1つとして、姿勢不良や運動不足などによる腹筋力の低下があることをご存じですか?

腰痛は姿勢の歪みなどによって、腹筋と背筋の筋力のバランスが崩れることで引き起こされます。腹筋力が低下すると、前屈みの姿勢になり、腰に負担がかかってしまうためです。つまり、腰痛を防ぐには、腹筋と背筋の筋力が適度にバランスよく保たれていることが大切。腹筋力を向上させるのはとても簡単です。運転時に深く座って背筋を伸ばすだけでも、腹筋は十分に鍛えられます。腹筋がついてくると、からだの中心にある骨盤の歪みやズレなども矯正されます。その結果、前屈みの姿勢が改善されて、腰への負担が少なくなっていきます。このように、腹筋と背筋のバランスや正常な骨盤は、腰痛のない姿勢を保っているのです。

日ごろから腹筋を意識的に使って、快適な運転生活を送りましょう。

三菱ふそうトラック・バス株式会社
www.mitsubishi-fuso.com